



国土交通省

問い合わせ先

(所属) 自動車技術安全部

(担当) 整備課 芳山

保安・環境課 山本

大阪運輸支局 佐藤、田中

(整備課) 06-6949-6453

(保安・環境課) 06-6949-6454

(大阪運輸支局) 072-822-4374 (ガイダンスが流れたら「1」をプッシュ。)

令和4年1月24日

タイヤ交換後も必ずホイール・ナットの増し締めを！ ～大阪トラックステーションで点検を実施～

近畿運輸局では、大阪府トラック協会と大阪府自動車整備振興会と連携し、19日、大阪トラックステーションで「大型トラックのホイール・ボルト、ナットの点検」を行いました。大型トラックを中心に12台のホイール・ボルト、ナットの点検の結果、**5台で緩みが見つかった**ので、トルクレンチを用いて**規定トルク値(締め付け力)**で増し締めを行いました。

～点検結果詳細～

点検車両12台中

- ・ナットのゆるみ 5台
- ・ホイール錆(さび) 4台
- ・ホイール・ボルト頭の突出量の不均一 1台



交換後もホイール・ナットの管理が重要！

タイヤを適切に交換しても走行中の**初期なじみ**によりゆるみが発生するおそれがあることから**タイヤ交換後50km～100km**走行後はトルクレンチを用いて**必ず規定トルク値**での増し締めの実施をお願いします

☆車輪脱落事故を防ぐための日々のタイヤ取付け状態の確認の徹底を！
大型車の車輪が脱落すると大きな事故に繋がりますので、
「お・ち・な・い」でタイヤ脱落事故の防止をお願いします。

(参考)

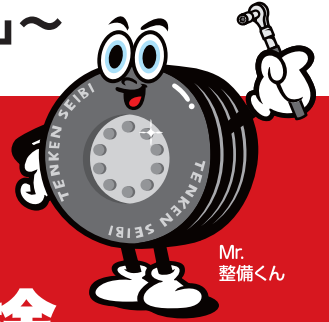
[報道発表資料：冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！～大型車の冬用タイヤ交換時期に向けて、車輪脱落事故防止対策を強化します～](#) 国土交通省 (mlit.go.jp)

配付先：青灯クラブ/陸運記者会(トラック)

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏 冬 タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意!

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～



Mr. 整備くん

お

とさない! 脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち

ちゃんと清掃、ちゃんと給脂!

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに!

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- スムーズに回転しない場合、ボルトとナットはセットで交換してください。
- ボルトとナットは新品から4年経過後は入念に点検してください。

錆びたボルト・ナット



給脂



な

(ナット)

ット締め、トルクレンチを必ず使用!

- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。



- 初期なじみのため、タイヤ交換後50~100km走行後を目安に増し締めを実施してください。



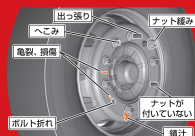
い

ちにち一回、緩みの点検!

ホイールナットの緩み点検/
インジケーターの正しい使用
方法などがご覧いただけます



- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。



- 特に脱落が多い
左後輪は重点的に点検を。



- ISO方式の場合は、目視で確認できるインジケーター装着による点検がより効果的です。



詳しくは、
こちらから!



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



